



2021年3月30日

各位

会社名 日本車輛製造株式会社
代表者名 代表取締役社長 五十嵐 一弘
(コード: 7102、東証、名証第1部)
問合せ先 総務部長 永田 健一
(TEL. 052-882-3316)

中期経営計画策定に関するお知らせ

当社は、2021年度から2023年度までの3カ年を対象とする中期経営計画「日車変革2030」を策定しましたので、その概要をお知らせいたします。

記

1. 中期経営計画「日車変革2030」の策定について

当社の事業を取り巻く状況は、国内における少子高齢化の加速や、カーボンニュートラルへの意識の高まりなど、外部環境が大きく変化しており、需要変動に極力左右されない収益構造への転換が不可欠と考えております。

そこで、2030年までにやりたい姿を表す長期ビジョンを策定し、その長期ビジョンからバックキャストして、向こう3年間に取り組むべき事項を明確化した中期経営計画を策定し、「日車変革2030」をスローガンとして推進してまいります。

2. 長期ビジョンの概要

当社は、需要変動に極力左右されない収益構造への転換を目指す上で、2030年までにやりたい姿を表す長期ビジョンを策定いたしました。当社の強みである「品質」「カスタマイズ」「JR東海との連携」をさらに高めるとともに、新たに必要となるリソースを獲得し、長期ビジョンを実現してまいります。

《長期ビジョン》

現場*1に安全と信頼をスマート*2に提供し、お客様の課題を解決するビジネスパートナーになる

*1「現場」とは、お客様（エンドユーザーを含む）が当社製品を使用して価値を生み出す場面、および使用する前段で保守や準備を行う場面など、お客様が当社製品に触れる場所を意味する。

*2「スマート」とは、ICTを活用して、当社にとっても効率的で、お客様に自動化、省人化、省力化等の効果をもたらすスタイルを意味する。

3. 中期経営計画「日車変革2030」の3本柱および数値目標

① 3本柱

当社を取り巻く環境や課題を踏まえ、強みを伸ばすとともに、新たに必要となるリソースを確保するための取組みを3本柱に掲げ、中期経営計画を推進いたします。

I 収益力（利益を稼ぎ出す力）の徹底強化

II 成長のための事業基盤改革

III ビジネスモデル変革の実現

② 数値目標

社員一人ひとりが中期経営計画実現の主人公になり、中期経営計画を強力に推進するため、従来の売上高利益率に加え、新たな経営指標として「ROIC」を導入し、ROIC経営を定着させます。

《2023年度数値目標（連結）》

営業利益率：8.0%、ROIC*：6.5% *税引後営業利益/投下資本

以上